

ヤマガタダイカイギュウと人魚たち

— 1千万年、進化のドラマ —

山形県の母なる川・最上川の侵食により、ヤマガタダイカイギュウが太古の眠りから掘り起こされその姿を現したのは、40年前の1978年（昭和53）のことです。2人の小学生が発見したヤマガタダイカイギュウは、カイギュウ類の進化の空白を埋める世界的な大発見となり、その後次々に発掘される他のカイギュウ化石とあわせ、研究が飛躍的に進むことになりました。人魚のモデルに例えられるジュゴンやマナティは温暖な海に生息しますが、その仲間であるダイカイギュウは寒冷な海に適応して大型化していったと考えられます。しかしながら、最終的には人類による絶滅という悲劇的な結末を迎えました。

本展示会は、各地の発見の経緯やカイギュウ化石の研究の歴史をふり取り、約1千万年に及ぶ「人魚の仲間たち」の進化のドラマを描くものです。また3Dプリンタでレプリカを作製し、手に持って大きさを実感し細部を観察できるハンズオン展示も行います。大型哺乳類であるカイギュウ類の進化から、太古のロマンを感じてください。

背景：ヤマガタダイカイギュウの復元図（足寄動物化石博物館で骨格3Dデータから作製）



ヤマガタダイカイギュウの頭骨（本館所蔵）



アイヅカサトカイギュウの頭骨レプリカ
（喜多方市カイギュウランドたかさと所蔵）



ヤマガタダイカイギュウの3Dデータから
作製したカットモデル（山形県立産業技術短期大学校
デジタルエンジニアリング科庄司研究室作製）



キタヒロシマカイギュウの下顎骨
（北海道博物館所蔵）



触れる
ハンズオン展示！

ヤマガタダイカイギュウ
頭骨・下顎骨レプリカ
（山形大学工学部
古川研究室作製）

記念講演会 会場：本館 講堂

- 日時：9月29日（土）13時30分～15時
演題：「海牛だけではなくゾウも!?
—彼らの祖先は海棲哺乳類だった！—」
講師：甲能直樹氏
（国立科学博物館地学研究部生命進化史研究グループ長）
- 日時：10月27日（土）13時30分～15時
演題：「ヤマガタダイカイギュウとクジラの古生物学
～その進化を探る～」
講師：長澤一雄氏（山形県立山形南高等学校教諭）

展示解説会 会場：本館 第3展示室

- 日時：9月22日（土）、10月13日（土）、11月23日（金・祝）
各回13時30分～14時

化石のレプリカづくり 会場：本館 講堂 当日受付

- 日時：10月8日（月・祝）、10月28日（日）
10時～11時40分、12時～13時40分、14時～15時40分

化石発掘体験 事前申し込み

- 日時：10月6日（土）10時～15時30分
会場：山形県神室少年自然の家
- 日時：11月11日（日）10時～15時30分
会場：山形県朝日少年自然の家
※申し込みが必要な催物に関しては、本館HPをご覧ください。

主催：山形県立博物館

後援：鶴岡市教育委員会 大江町教育委員会 戸沢村教育委員会 庄内町教育委員会

協力：足寄動物化石博物館 喜多方市カイギュウランドたかさと 北広島市エコミュージアムセンター 公益財団法人致道博物館 国立科学博物館 札幌市博物館活動センター 滝川市美術自然史館 鳥羽水族館 富山県古生物研究会 長岡市立科学博物館 長野市立博物館分館戸隠地質化石博物館 沼田町化石館 福島県立博物館 北海道博物館 山形県立左沢高等学校 山形県立産業技術短期大学校 山形県立米沢工業高等学校 山形古生物研究会 山形大学工学部 山形放送株式会社 横手市増田まんが美術館
（協力については50音順・一部略称）



サッポロカイギュウ完全骨格復元模型（札幌市博物館活動センター所蔵）

山形県立博物館

—YAMAGATA PREFECTURAL MUSEUM—
〒990-0826

山形市霞城町1番8号（霞城公園内）

TEL: 023-645-1111

FAX: 023-645-1112

山形県立博物館

交通案内

徒歩：JR山形駅西口より10分

車：山形道山形蔵王ICより5km（約15分）

東北中央道山形中央ICより3km（約10分）
霞城公園の北門からお入りください。

